

# 青い波北陽台

令和2年3月24日 発行  
長崎県立長崎北陽台高等学校  
西彼杵郡長与町高田郷3672  
TEL 095-883-6844  
FAX 095-883-0776  
発行責任者 西田 哲也

君たちは何を考え、どう行動するか？

教頭 古賀 巖

数か月前まではまさか日本がこのような事態になるとは思ってもみませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために全国の公立学校のほとんどが休校になるという、これまでにない事態となっております。また今回のウイルスの感染拡大により、マスクやトイレットペーパーの品切れや高額転売、SNS上でのデマや海外における人種差別等々、体や経済だけでなく人々の心までも少しずつ蝕まれているように感じてなりません。そんななか、日本と同様にすべての学校が閉鎖されているイタリアのある高校の校長先生が出したメッセージが世界中で話題になっています。14世紀に世界中で大流行し、何千万人の命を奪った伝染病“ペスト”を引き合いに、学校に来られない生徒たちに向けて出したものです。

『…冷静さを保ち、集団のパニックに巻き込まれないこと。そして予防策を講じつつ、いつもの生活を続けて下さい。こんな時だからこそ、散歩をしたり、良い本を読んだりしてください。元気であれば家に閉じこもっている必要はありません。スーパーや薬局に駆け込むのはやめましょう。マスクは病気の人が主に必要なもので、彼らに譲りましょう。世界のあちこちにあつという間に広がっているこの感染の速度は、われわれの時代の必然的な結果です。ウイルスを食い止める壁の不存在は、今も昔も同じ。ただその速度が以前は少し遅かっただけなのです。この手の危機に打ち勝つ際の最大のリスクは社会生活や人間関係の荒廃、市民生活における蛮行です。見えない敵に脅かされた時、人はその敵があちこちに潜んでいるかのように感じてしまい、自分と同じような人々も脅威だと、潜在的な敵だと思いついてしまふ、それこそが危険なのです。14世紀と17世紀の伝染病の時と比べ、私たちに近代的な医学があり、進歩し、正確になりました。私たちは社会組織と人間性という貴重な財産を守るべく、合理的な考えを持つようにしましょう。もし、それができなければ、伝染病が本当に勝ってしまうかもしれません。では、早いうちにまた学校で待っています』(途中省略部分あり)

このメッセージはまさに今の日本の生徒にも当てはまるものだと思います。

近年、面接指導をして思うのは学校の成績は優秀なのに、一般常識や社会情勢について知識の乏しい人が多いことです。それは、言い換えればその事柄について考えたことがないということでしょう。日々の生活が忙しく、ニュースを見たり新聞を読む時間がないのかもしれません。しかし皆さんがスマホを扱っている時間の1/10でも回すことができれば、解決できることではないでしょうか。確かに学校で学ぶ内容も大切なものです。しかし実社会に出て生きていく上で大切なのは違うように思います。これからは「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)」の時代と言われています。従前と違った考え方や対応力が必要なのです。もっと社会に目を向け、何をすべきか、何をすべきか、考える力を養い、社会や地域に貢献できるひとに育ててほしいと思っています。

## ～部活動等の表彰～

### ○登山部 男女

- ・長崎県スポーツ表彰受賞
- ・長崎県高等学校体育連盟表彰受賞  
(令和元年度南部九州インターハイで男子優勝、女子2位に対する表彰)

### ○家庭部

- ・令和元年度家庭クラブ員功労者表彰 松竹谷 優羽(2年4組)

## ～2月29日(土) 各種表彰・卒業記念品目録贈呈式・花束贈呈式～

### ① 各種表彰式

優良卒業児童生徒表彰【県教育委員会】	鶴長 大輝(登山部)
卒業生顕彰【県高体連】	松竹 永人(陸上部)
卒業生顕彰【県高文連】	川口 優衣(吹奏楽部)
陽の丘顕彰【本校】	前川 芳凜(生徒会長)
	松野 大貴 宮副 竜輔
	山口 敬信 渡邊 裕晶(理数科4名)

### ② 卒業記念品目録贈呈式

39回生の皆さんより、テント1つ、製氷機を寄贈していただきました。授業や行事で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

### ③ スクールバスの運転手さんへの花束贈呈式

3年間毎日お世話になった長崎バスの運転手さんに向け、卒業生を代表して田口峻輔くんがお礼の言葉を、野嶋透くん、鳥羽玲華さん、佐々木梨花さんの3名が花束を贈呈し、感謝を伝えました。



## ～第39回 卒業証書授与式～

3月1日(日)に第39回卒業証書授与式が挙行されました。今年度は、新型コロナウイルス対策のため、卒業生、教職員、保護者、在校生代表1名の参加とし、短縮した形で行われました。

卒業証書授与の呼名では、卒業生一人ひとりが体育館に響く大きな返事をしました。在校生を代表して2年2組の土谷真理さんが送辞を、卒業生を代表して3年7組の前川芳凜さんが答辞を述べ、荘厳で感動的な式典となりました。

39回生の卒業生(普通科238名、理数科40名の計278名)の今後益々のご活躍を教職員、在校生一同願っております。卒業おめでとうございます。



## 高校入試 合格者発表

3月19日(金)、令和2年度公立高校入学者選抜の合格者発表が行われました。推薦・一般入試の計280名が本校第42回生となります。

新型コロナウイルス対策のため、合格者発表は校内3か所で行われました。緊張した面持ちで自分の受験番号を探す姿と、それを見つけたときの喜びに溢れた表情が見られました。入学後は、自分の目標に向かってさらに頑張ってくれるものと期待しています。

## 「41回生のみなさんの頑張りに期待」

1学年主任 守 慶直

新型コロナウイルスの影響による休業のため、3月の授業や部活動、学校行事はすべてなくなってしまいました。私自身、残り少ない数学の授業をどのように進めようかと、1年生最後の授業はどんな話をして終わろうかなど、この先の日々が当たり前にくるものと思って準備を進めていましたが、突然それもできなくなってしまいました。生徒のみなさんも部活動の練習や試合ができなかったり、楽しみにしていた競技大会が中止になったり、友達に会えなかったりと、モヤモヤした気持ちで毎日過ごしているのではないのでしょうか。

この期間の過ごし方で、例年以上に頑張った人とそうでない人の差が大きく開いてしまうことを心配しています。2年生の1年間だけでなく、2年後の受験にも大きな影響を及ぼすのではないかと考えています。一日一日を大切に、精一杯過ごしてください。このような状況にも負けず、先を見据えて頑張ってください。41回生の底力に期待しています。

## 「臨時休業」

2学年主任 林 圭介

3月4日から長い臨時休業期間に入りましたが、家庭での過ごし方はいかがでしょうか。学校があっている時間は基本的に学習に当てましょう、ということになっていましたが、かなり大変だったと思います。部活動に入っている人たちは、練習ができず、また多くの大会が中止になるなど、多くの不安を抱えていることだろうと思います。

これから先のことは、まだ不透明で何とも言うことはできませんが、今おかれている環境の中で、それぞれが工夫をして最善と思える生活を送っていくことが、何より大切ではないかと思います。

こうしているうちに、2年生としての時間は終わってしまいました。本来ならば、3年生に向けての準備を、気持ちの面も含めてやっていかなければならない時期でした。例年に比べて、このあたりが心配な面であるかと思います。しかし、また新学期が始まります。新たな気持ちで、新しい環境で、しっかり頑張ってください。

## ～令和2年度人事異動～(この度の人事異動で、15名の先生方が退職・異動となりました。)

### <退職者>

大野 公一主幹事務長(定年退職:4月からは県教育庁教育環境整備課)

池田 保幸(再任用退職:4月からは非常勤講師で本校勤務)

上野 昇(事務:退職) 大串 由美子(事務:退職)

山口 由香子(図書館:退職) 松本 潤(図書館:退職)

### <転出者>

古賀 巖教頭(上五島高校長) 小島 桂子(諫早農業高校) 池田 裕一(口加高校)

末松 善之(対馬高校) 多々川 恵亮(大村高校) 田頭 謙治(壱岐高校)

濱崎 雄真(対馬高校) 宮崎 理紗(上対馬高校) 上野 敬(諫早高校:再任用)

## ～4月の主な行事予定～

\*新型コロナウイルス状況によっては、今後行事予定が大幅に変更になることがあります。

8日(月) 大掃除・始業式・新任式・

14日(火) 部活動編成

入学式・PTA入会式

15日(水) 歓迎遠足(20日(月) 予備日)

9日(火) 校内実力試験(全学年)

21日(火) 校内理数科課題研究発表会

10日(水) 校内実力試験(2・3年)

28日(火) 体カテスト・身体測定